



民生委員・児童委員マーク

# ともしび

にしのみや

第3号  
平成29年3月1日発行  
西宮市  
民生委員・児童委員会

☎0798-35-3032  
発行責任者：安東 裕子

## 地区活動紹介

西宮市の民生委員・児童委員会には十三地区民生委員・児童委員協議会があります。各地区協議会の活動を紹介します。

### 今津地区

## つなげよう民生委員と地域の輪

今津地区民児協は、春風、津門、今津、南甲子園二部小学校区で構成され定数七〇名、現在男性一名、女性五〇名で活動しています。今期は一部役員交代と二三名の新しいメンバーが加わりました。

地域は南の今津浜から北は国道二号線のアサヒビル跡地、阪神、阪急JRと交通の便も大変恵まれています。

当地区は、民児協の定例会とは別に夏季研修で三校区が六グループに分かれて、

・二四年度「児童虐待の問題」  
・二六年度「認知症高齢者等への見守りと訪問支援」  
・二八年度「地域の避難

支援について」といったテーマで討論してきました。

司会、記録、発表と担当を決めて意見を出し合い、まともな昼食後の発表でした。日頃、他校区の方とは挨拶を交わすくらいでしたが、この研修は活発でそれぞれの考えを気持ちよく話して、聞いて、いつもの定例会形式でなく、交流の場を持つことができ、お互いを身近に感じるようになりました。

また、ここ数年は個人の活動で、困ったことや、地域の方から喜ばれたことなどのスピーチの場を毎月設けていました。

〈気づいて〉 〈つないで〉 〈見守る〉という生の活動報告がベテランの方、

新任の方それぞれの参考になっただけは幸いです。今、無縁社会と言われていますが、「決してそうではないですよ」と発信

### 広田地区

## この街で生まれこの街で育ち

広田地区民児協は広田、平木の二校区で構成され、委員三九名は日夜この街に住みよい街になることを願って頑張っています。

今回の改選により両校区の常務が同時に定年を迎え、少し心細くなりましたが、強力な新人が入り、心機一転して活動に励む所存です。

当地区は阪急西宮北口の西側から北に広がる地域です。南端の県立芸術文化センター、北端の広田神社、間の中央

体育館がランドマークといえます。住みたい街西宮の中でも人口が高いところで人口は増加傾向です。また比較的若い層が多いため、「健やか赤ちゃん訪問事業」

できますように。今津地区民児協のスローガン「つなげよう民生委員と地域の輪」(武庫百合子)

の頻度が高いと感じます。委員は民児協の活動だけでなく、社協、青愛協、老人会、スポーツクラブ21コミュニティ委員会、エココミュニティ、学校連携協議会、公民館活動等、本当に地域活動をよくこなしています。

しかしながら大変であってもこれらの活動により地域に深く浸透し、頼りにされる存在になっていることを忘れてはなりません。



編集部では川柳コーナー掲載を予定しています。民生委員の皆様の投稿を募集します。日常の民生委員活動のエピソードなどを川柳に詠み込みお寄せ下さい。下記に連絡頂くか、メール送信をお願い致します。

☎0798-35-3032  
西宮市地域共生推進課  
✉ chiikikyosei@nishi.or.jp

ともしび1号と2号は、西宮市HP中「くらしの情報」⇒社会福祉⇒地域福祉⇒民生委員・児童委員について」で閲覧ください。



毎月の定例会(地区民児協)は時間的制約のため伝達事項中心になります。このため、昨年より会話・討論、相互勉強などの機会を時々設ける様になりました。当日は食事の時間を挟んでみっちり取り組めます。「食事は会話の潤滑剤にもなります!」

## 編集後記



平成27年9月1日に誕生した「ともしび」。創刊号以来、第2号、第3号と民生委員としての立場や思い、又色々な地区や地域での日々の活動の様子を出来るだけ多くの方々知って頂きたく作りあげてきました。

会長の「出発に際して」の記事にありまますように、民生委員制度は今年百周年を迎えます。また昨年末の一斉改選で民生委員は新たな委員構成で活動を始めておりますが、欠員はまだまだ解消されていないのが現状です。

この「ともしび」によって民生委員の活動に少しでも関心を持っていただけたら幸いです。次の百年に向かって、共に歩いてみませんか! (北岡)

## 西宮市民生委員・児童委員会

# 新体制がスタート!

### 委員の一斉改選

昨年十二月一日に民生委員・児童委員(以下「民生委員」)は一斉改選を迎えました。

西宮市では、定数七二九名に対して六四二名の民生委員が委嘱されました。その内訳は再任が五

### 新会長 挨拶

## 出発に際して

安東 裕子



昨年の一斉改選で私たち民生委員は、新たな委員構成で活動を始めました。民生委員制度は今年百周年を迎えます。奇しくも私たちの一期三年の任期は次世代への出発点です。先輩の良き活動は踏襲しつつも、その内容や方法については時代の変化を捉え、活動が行い易い環境を行政と共に考えてまいります。

また、民生委員欠員区域は校区委員に負担がかかるだけでなく、住まう人々へのサービスが滞るのではないかと案じております。民生委員推薦準備会委員の方々や民生委員の皆様のお力添えとご協力を頂き、欠員解消に努めて参ります。よろしくご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

### 新理事会の構成

役職名	氏名	地区
会長	安東 裕子	塩 瀬
副会長	高瀬 京子	芦 原
副会長	古川 健造	甲 東
会計	本田 悦子	夙 川
理事	北中 秀和	中 央
理事	原田 久美子	大 社
理事	原田 慎一	広 田
理事	武庫 百合子	今 津
理事	諸戸 大護	鳴 尾 第 1
理事	佐川 和子	鳴 尾 第 2
理事	貴山 好江	鳴 尾 第 3
理事	北岡 良恵	瓦 木
理事	本田 三延	山 口

### 新理事会が発足

一斉改選により西宮市民生委員・児童委員会理事事も新たな船出を迎えることとなりました。

理事会は十三の地区民生委員・児童委員協議会の会長(右図参照)により構成されます。その中から、会長に安東裕子氏(塩瀬)、副会長に高瀬京子氏(芦原)、古川健造氏(甲東)、会計に本田悦子氏(夙川)が三役として就任しました。民生委員の負担は増してきており、本市でも一斉改選による欠員が八九

名となるなど、成り手不足の問題も深刻です。新たな課題にも取り組んでいかなければならない中、委員会全体の方針決定や運営を理事会で行ってまいります。





# 特集

# 無縁社会を見つめるまなざし

## 進行する無縁社会

■無縁社会が広がっています。家族、地域、職場での人との絆が薄れ、孤立する人が増えている社会です。背景に、核家族化・非婚化・長寿化による単身世帯の増加、終身雇用の崩壊と非正規社員化などの雇用形態の変化があります。個人情報保護の厳格化やネット社会化が、家族や地域社会とのコミュニケーションを一層希薄化させています。

■民生委員は、無縁社会で孤立化する社会的弱者に支援の「ともしび」を灯す役割を担っています。そのためにも無縁社会を見つめる民生委員としての「まなざし」が必要です。

■他方で、無縁社会の広がりや深刻化は、個人活動が基本の民生委員の活動だけでは限界があります。「見守り」をバックアップする「地域の仕組み」が必要です。

■「ともしび」第三号では、「無縁社会を見つめるまなざし」を特集し、地域と民生委員の事例を取り上げました。



## 地域のまなざし

民生委員は地域の見守り活動の中心的な役割を果たしていますが、その活動は、社協、自治会、老人会、ボランティアセンター等の地域組織との連携が欠かせません。民生委員の見守り活動の地域組織との連携の具体的事例を紹介します。



北六甲台地区民生委員

## 北六甲台地区の取組み事例

### 福祉ネットの設立

北六甲台地区では平成二十七年に社協分区分区を中心に福祉ネットワーク北六甲台地区会議（以下福祉ネットという）を設立しました。福祉ネットは社協分区分区、地区の二自治会、老人会、ボランティアセンター、民生・児童委員に、高齢者あんしん窓口山口、市社協分区分担当で構成されています。

更に地域の医療機関や介護施設、コープこうべ等がオブザーバーとして、また開業医、薬剤師、ケアマネジャー等がアドバイザーとして連携しています。

### 各組織の見守り活動

各構成組織は、次のように既に様々な見守り活動を実施していました。

### 日高昭夫

◆民生委員は、毎年秋に高齢者実態把握調査や安心キット、地域安心ネットワーク、緊急通報救助システムのご案内をしています

◆自治会は年二回の会費徴収を通じて訪問活動を行っています

◆老人会は、平日の「憩の家」開設を通じての見守りや広報紙配布の訪問活動を実施しています

◆ボランティアセンターは特定の方への電話訪問による見守りを実施しています



◆ところが、こうした見守り活動はどんな場合に

どのような手順で通報連絡をするか明確ではありませんでした。そこで今後の見守り活動の在り方について下記の図のようにまとめました。

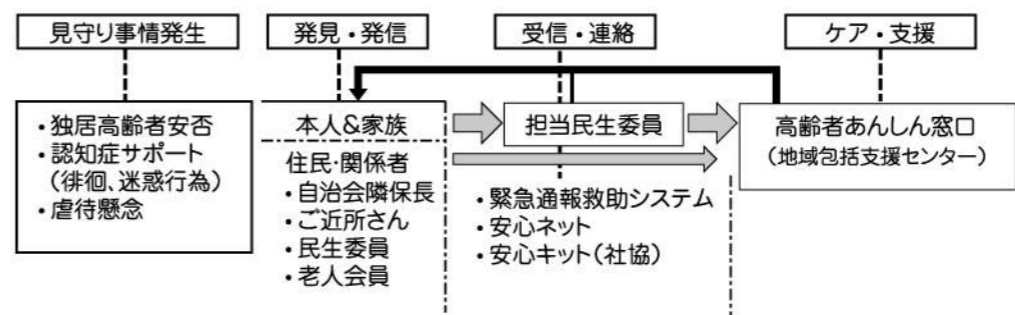
### 民生委員を中心とした見守り活動の手順

見守りが必要な場合、通常、下記の「見守り事情の発生」が想定されます。事情発生に伴い図のように「ご本人や家族」「住民や関係者」が「担当民生委員」か「あんしん窓口」に連絡します。

民生委員は内容に応じてあんしん窓口や関係の行政機関に連絡相談します。あんしん窓口は、必要な措置を本人や家族に対して実施します。

### 広報紙での周知

以上の見守り手順については、福祉ネット広報紙で周知をはかりました。広報紙は自治会配布ルートでなく全世帯対象にシール配布を実施しました。見守り活動の広報紙での一歩前進の期待です。



## 民生委員のまなざし

### Aさんとの出会いを糧に



今津地区津門校区

### 川上 守

ので、なにかあったら連絡くださいと言葉を掛けてお宅を後にしました。

数日後、今日は五、六件独居の方を訪問しようとして決めてAさん宅にも訪問しました。しばらくしてまだ廻るところがあるので帰りますと言うと、淋しい顔が覗きます。色々話を聞いてあげることが一番嬉しいようです。

半年後、「身体も弱りましたので施設に入ることになりました」と連絡がありました。Aさんには「元気で過ごして、長生きしてください」と声を掛け別れました。今でもこの方を心の隅で見守り続けています

Aさんの笑顔が見られたからこそ、今日まで民生委員を続けられたのだと思っています。人との

出会い、他人様の喜び笑顔を見て、自分も喜べる人生が送れたことに感謝しています。民生委員を続けていて良かったと感じている今日この頃です。



民生委員制度百周年シンボルマーク

## 無縁社会と民生委員



甲東地区樋ノ口校区

### 小椋 朝夫

私が民生委員に委嘱されたのが二〇〇一年でした。阪神淡路大震災に遭遇し、当時は地域の方々も血縁・地縁・社縁について的重要性をしっかりと認識され、ご近所づきあいもそれなりにあったのではないのでしょうか。

実態調査に伺っても家庭の状況や地域での暮らし等も色々話を聞かせて頂いていましたが、二〇一〇年頃より個人情報

の壁が前面に出てくるようになり、家庭の状況等も把握できにくくなりました。自分の事は自分で責任

を持つべきだとの意見が出てくるようになり、「共助」の意識が減少しているのが現状ではないでしょうか。

自治会にも入会しないどころか脱会する人が出てくる始末。自分の殻に閉じ籠り地域との交流を遮断される方が高齢者のみならず若い方々にも見受けられます。

五年程前、夕方、高齢の方より電話があり出掛けると、電気・水道が止められるという話に始まり、家賃も四ヶ月滞りしているといった相談にも発展しました。孫娘との同

## にしのみや市民祭りブース出展



10月22日に開催された第41回にしのみや市民祭りに、西宮市民生委員・児童委員会が「ふるさとブース」を出展しました。

昨年に続きボードとシールを使い「民生委員知ってますか？」アンケートを実施。回答者には防犯グッズなどをプレゼントしました。また、「西宮市民生委員・児童委員会」と印字されたリボン付きの風船や民生委員のPRパンフレットなども配布。スタッフ一同楽しみながら民生委員の広報を行うことが出来ました。

ここにあるのではと感じました。公助を辞退される方はおおむね閉じ籠りがちです。地域での声かけが大変重要な時代になってきたのではないのでしょうか。

※川上さん、小椋さんは昨年十一月末に定年退職されました。